

窓

京都新聞 令和2年(2020年)8月5日(水)

オンライン授業 利点実感

宇治市・山谷 芽生(大学生・18)

新型コロナウイルスの影響で臨時休校の期間中、多くの学校がオンライン授業に切り替えていくニュースが気になった。緊急事態宣言を受け、オンライン授業を始めること伝えられた時、いくら大学生になったと言っても、最近まではノートを使い勉強に励んでいた高校生だったのに、いきなり慣れないパソコンを使いこなせるか不安だった。

しかし、オンライン授業に取り組み中で、自分のペースで学習に取り組みことができ、学びが深められていると実感できた。このことから私は、不登校であっても授業を受けられる時代は遠くないのではないかと

考えた。また、授業を録画できる機能を使えば、対面授業の時よりも復習しやすくなり、学習能力向上につながると思う。

けれど、実際にオンライン授業を行う中で、人とコミュニケーションが取りづらいことが一番課題だと思った。少人数での話し合いをしていても、相手の呼吸を感じ取ることが難しいため話し合いがしづらいと感じた。

改善すべき課題はまだ残るが、コロナが収束することを願い、今はオンライン授業に取り組みもうと思う。